



防災備蓄庫等の備蓄状況等について／  
特殊詐欺撲滅への施策は  
鈴木洋一議員  
(政和会)



防災備蓄庫及び防災倉庫の  
備蓄状況等について

質問 ①令和4年度予算における被災者用備蓄品の整備内容は。  
②備蓄品の保管について、民間企業との協力体制は。

市長 ①消耗品費2千4百62万9千円を計上しており、主な内訳は食料や使い捨てトイレ、毛布等である。また、備品購入費2百61万6千円を計上しており、内訳は応急給水資機材用の小規模倉庫や簡易ベッドである。

質問 ①被害防止対策について、市の啓発活動は。  
②自動通話録音機の貸与台数とその効果は。

市長 ①小平警察署等と連携し、年金支給日における特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施や、犯行予兆電話、いわゆるアポ電が多発している際の広報車による注意喚起等を実施している。

市長 ①小平警察署等と連携し、年金支給日における特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施や、犯行予兆電話、いわゆるアポ電が多発している際の広報車による注意喚起等を実施している。

②令和3年度末時点で千台である。小平警察署に聞いたところ、貸与された世帯の被害件数はほとんどないとのことから、効果は高いと捉えている。

市長 ①小平警察署等と連携し、年金支給日における特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施や、犯行予兆電話、いわゆるアポ電が多発している際の広報車による注意喚起等を実施している。

②子ども家庭支援センターでは就学後から18歳までの子どもと家庭への支援も行っている。また、ティーンズ相談室では親からの相談にも対応するなど、寄り添った支援に努めている。

市長 ①令和4年度、国は母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会を開催し母子健康手帳見直しの検討等を進めている。この動きを踏まえ研究していく。

②子ども家庭支援センターでは就学後から18歳までの子どもと家庭への支援も行っている。また、ティーンズ相談室では親からの相談にも対応するなど、寄り添った支援に努めている。

市長 ①令和4年度、国は母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会を開催し母子健康手帳見直しの検討等を進めている。この動きを踏まえ研究していく。

②子ども家庭支援センターでは就学後から18歳までの子どもと家庭への支援も行っている。また、ティーンズ相談室では親からの相談にも対応するなど、寄り添った支援に努めている。

市長 ①令和4年度、国は母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会を開催し母子健康手帳見直しの検討等を進めている。この動きを踏まえ研究していく。



玉川上水緑道／鷹の台公園検討  
委員会設置／地区交流センター  
橋本久雄議員  
(一人会派の会)



玉川上水緑道をインクルーシブな  
スペースに整備せよ

市長 ①よりよい市民参加手法を検討していく。  
②小学生によるワークショップの実施を検討している。

質問 ①緑道の利用者にアンケート調査ができないか。  
②アンケート結果を参考に都に必要を要望してはどうか。

市長 ①アンケート実施の考えはないが、緑等に関連する計画策定の際に意見等を聞いている。  
②要望は難しい。

鷹の台公園の整備は市民参加の  
検討委員会を立ち上げ、進めよ

市長 ①効率的運営を目指し特別教室等の地域開放も想定する。  
②仮称十一小地区交流センターと同様の施設を14館設置した場合、施設の総量比較で延べ床面積は約5割削減の想定である。

質問 ①市民参加の検討委員会を立ち上げ、計画を進めては。  
②整備案は子どもを含め公募し、プレゼンテーションで決めるは。

市長 ①効率的運営を目指し特別教室等の地域開放も想定する。  
②仮称十一小地区交流センターと同様の施設を14館設置した場合、施設の総量比較で延べ床面積は約5割削減の想定である。

鷹の台公園の整備は市民参加の  
検討委員会を立ち上げ、進めよ

市長 ①効率的運営を目指し特別教室等の地域開放も想定する。  
②仮称十一小地区交流センターと同様の施設を14館設置した場合、施設の総量比較で延べ床面積は約5割削減の想定である。

質問 ①市民参加の検討委員会を立ち上げ、計画を進めては。  
②整備案は子どもを含め公募し、プレゼンテーションで決めるは。

市長 ①効率的運営を目指し特別教室等の地域開放も想定する。  
②仮称十一小地区交流センターと同様の施設を14館設置した場合、施設の総量比較で延べ床面積は約5割削減の想定である。



子どもと親の育ちを支える小平／  
新たな視点でふるさと納税を  
山岸真知子議員  
(市議会公明党)



子どもと親の育ちを支える小平／  
支える小平を目指して

質問 ①市の母子健康手帳に都の子供手帳モデルを活用しては。  
②学齢期の子を持つ親に対する支援のための相談体制は。

市長 ①令和4年度、国は母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会を開催し母子健康手帳見直しの検討等を進めている。この動きを踏まえ研究していく。

市長 ①現在、具体的な検討状況はないが、企業の賛同が得られるような地方創生プロジェクトを実施する場合は財源確保策として活用すべきと考えている。

②子ども家庭支援センターでは就学後から18歳までの子どもと家庭への支援も行っている。また、ティーンズ相談室では親からの相談にも対応するなど、寄り添った支援に努めている。

市長 ①現在、具体的な検討状況はないが、企業の賛同が得られるような地方創生プロジェクトを実施する場合は財源確保策として活用すべきと考えている。



小学校の教科担任制の  
取組状況について  
虹川浩議員  
(市議会公明党)



小学校の教科担任制の  
取組状況について

質問 ①これまでの授業形態と教科担任制導入への取組状況は。  
②教員の確保が重要だが、市の現状として足りない科目と人数、人材確保の取組は。

市長 ①長期にわたり大沼公民館ホールと音楽室のエアコンが故障しているが、復旧の目途は。  
②大沼公民館、大沼図書館のほかの部屋や施設について、今後の故障時の対応は。

市長 ①長期にわたり大沼公民館ホールと音楽室のエアコンが故障しているが、復旧の目途は。  
②大沼公民館、大沼図書館のほかの部屋や施設について、今後の故障時の対応は。

引き続き国等に働きかけていく。  
大沼公民館のエアコン故障の  
経過と今後の修理予定について

市長 ①早期にわたり大沼公民館ホールと音楽室のエアコンが故障しているが、復旧の目途は。  
②大沼公民館、大沼図書館のほかの部屋や施設について、今後の故障時の対応は。



生活困窮者の命を守るためには  
子どもの貧困対策の推進を  
きせ恵美子議員  
(日本共産党小平市議団)



生活困窮者の命を守るためには  
子どもの貧困対策の推進を

質問 ①令和3年3月定例会で、生活保護申請の際の扶養照会はやめるべきと質問したが進捗は。  
②生活保護制度周知の取組は。

市長 ①法令等に基づき扶養照会することとされている。国の通知では客観的に扶養が見込めない場合等は不要とされており、個別に事情を聞きながら国の通知等に沿って対応していく。

市長 ①今後の子どもの貧困対策は、結果では、18歳未満世帯員のいる一般世帯のうち、男親と子どもから成る世帯の割合は約0.7%、女親と子どもから成る世帯の割合は約8.3%である。

②引き続き都や他市の状況を注視するが、市としては関係機関との連携により、子ども・若者計画で子どもの貧困対策として掲げた各種施策を、支援を要する子どもと家庭に漏れなくつなげることが肝要と考えている。

市長 ①今後の子どもの貧困対策は、結果では、18歳未満世帯員のいる一般世帯のうち、男親と子どもから成る世帯の割合は約0.7%、女親と子どもから成る世帯の割合は約8.3%である。



市民への身勝手な呼びかけや  
誤ったワクチン情報発信を改めよ  
伊藤 央議員  
(一人会派の会)



市民への身勝手な呼びかけや  
誤ったワクチン情報発信を改めよ

質問 ①マスク非着用者の行事参加等を拒否することがあるか。  
②市長はゼロ密を呼びかける一方、自身は飲食を伴う会合に出席、酌や体に触れるなどしている。自分自身にできないこと等の呼びかけは即刻やめるべきでは。

市長 ①施設利用者や市主催行事等への参加拒否はしていない。  
②状況に応じ適切な呼びかけをし自分も適切に行動している。



子どもの権利を保障するために  
市の個人情報保護について  
さとう悦子議員  
(生活者ネットワーク)



子どもの権利を保障するために  
市の個人情報保護について

質問 ①子どもの権利条約を批准している重要性への認識は。  
②子どもの権利条約普及推進事業に期待するところは何か。

市長 ①批准国は条約の趣旨に沿い必要な措置を取る義務があり、重要性は十分認識している。  
②子どもが心身ともに健康に成長できる環境づくりを考える契機となることである。

市長 ①個人情報保護法の改正に際し、小平市個人情報保護制度の見直し時期と進捗状況は。  
②法でカバーしきれない個人情報保護の保護や開示の注意点は。  
③情報公開・個人情報保護・公文書管理審議会での意見は。



市民への身勝手な呼びかけや  
誤ったワクチン情報発信を改めよ  
伊藤 央議員  
(一人会派の会)



市民への身勝手な呼びかけや  
誤ったワクチン情報発信を改めよ

質問 ①マスク非着用者の行事参加等を拒否することがあるか。  
②市長はゼロ密を呼びかける一方、自身は飲食を伴う会合に出席、酌や体に触れるなどしている。自分自身にできないこと等の呼びかけは即刻やめるべきでは。

市長 ①施設利用者や市主催行事等への参加拒否はしていない。  
②状況に応じ適切な呼びかけをし自分も適切に行動している。

市長 ①施設利用者や市主催行事等への参加拒否はしていない。  
②状況に応じ適切な呼びかけをし自分も適切に行動している。